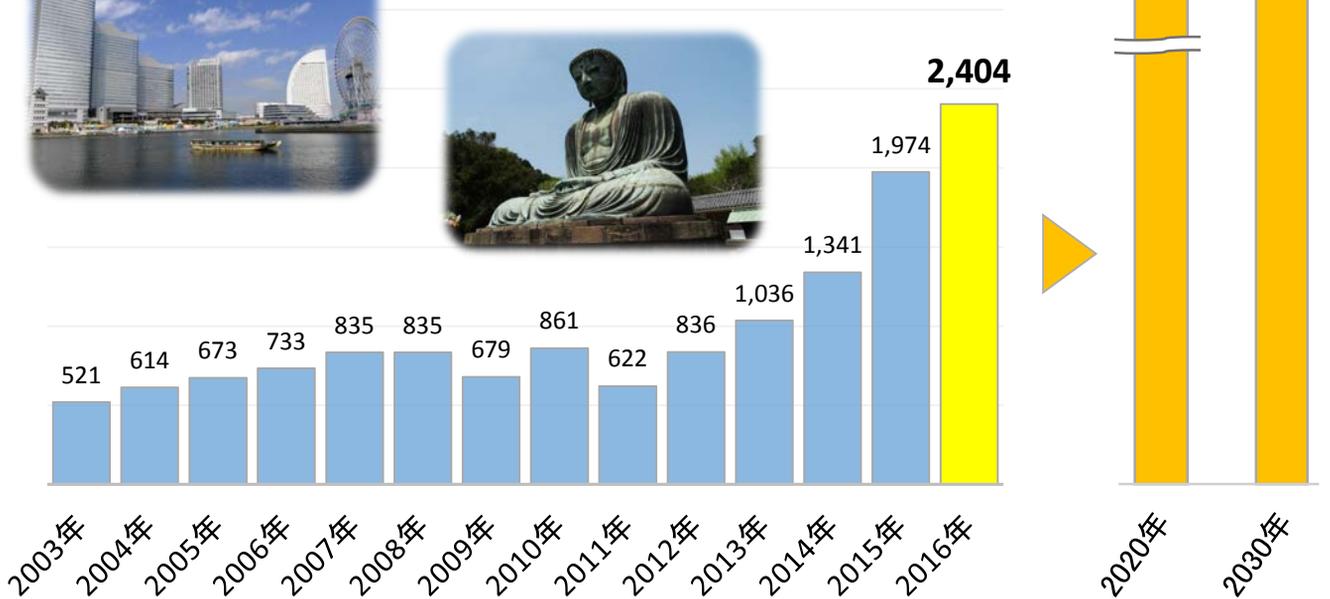


訪日外国人旅行者の受入環境整備の充実について

1. 提案の背景

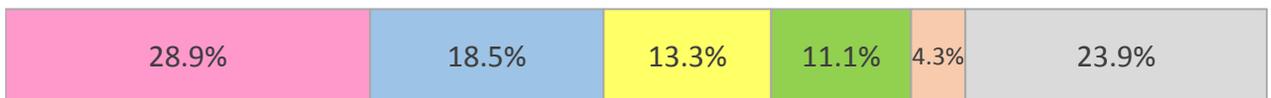
◆訪日外国人旅行者数の推移（単位：万人）

- 2016年には2,400万人超え
- 今後も、更なる増加の見込み



(出典)JNTO(日本政府観光局) (出典)明日の日本を支える観光ビジョン

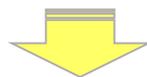
◆訪日外国人が旅行中最も困ったこと(単回答)



- 1位 ■ 施設等のスタッフとのコミュニケーションがとれない
- 2位 ■ 無料公衆無線LAN環境
- 3位 ■ 多言語表示の少なさ・わかりにくさ(観光案内版・地図等)
- 4位 ■ 公共交通の利用
- 5位 ■ クレジット/デビットカードの利用
- その他

ハード、ソフト両面で課題あり！

(出典)観光庁「訪日外国人旅行者の国内における受入環境整備に関するアンケート」(平成28年度調査)



こうした声に応えるためには、受入環境の整備が急務！

2. 本県及び国の取組

◆本県の取組

- ・ おもてなし人材（ガイド）の育成
- ・ 事業者向け24時間多言語コールセンターの設置
- ・ 民間事業者向け補助制度
(外国語表記の整備、無料公衆無線LAN整備等)

◆国の取組

<訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業>

- ・ 外国人観光案内所の整備・機能向上
- ・ 観光拠点情報・交流施設の整備・改良等
- ・ 公衆トイレの洋式化及び機能向上
- ・ 宿泊施設館内共用部のWi-Fi整備 などに対する補助



外国語表記の案内表示の例



無料公衆無線LANの
共通シンボルマーク

【国補助事業の課題】

- 補助の対象となっているエリアや施設が限定
エリア：本県では33市町村のうち、要件を満たす14市に限定
施設：公衆トイレの新築や建替などは対象外
- 宿泊施設のインバウンド対応（共用部のWi-Fi整備、トイレの洋式化など）
 - ・ 補助上限が100万円と少額
 - ・ 5施設以上が協議会を構成し、申請することが必要 など

現場の実情に合っていない

訪日外国人旅行者の受入環境整備を更に加速していくためには、
国の補助事業の使い勝手を向上させ、制度を充実することが必要！

3. 提案内容

- 1 訪日外国人旅行者が快適・円滑に滞在・移動できる環境の整備を促進するため、訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金に係る予算規模を拡充すること。
- 2 訪日外国人旅行者が日本で快適に過ごせる環境の整備を促進するため、宿泊施設や観光案内所等の整備に係る補助事業の補助率を1/2へ引き上げること。
- 3 補助対象事業者が事業に取り組みやすい環境を整えるため、補助事業の使い勝手の向上を図ること。
 - (1) 宿泊事業者に対する補助上限の撤廃又は引上げ、及び客室部分に対する整備の補助対象への復活
 - (2) 協議会構成宿泊事業者数や補助金交付回数制限の緩和
 - (3) 観光拠点情報・交流施設等に係る立地要件の撤廃など